



農林大学の動き(H30年10月)

2018. 11. 12

鳥根県立農林大学校 (担当:教育部 松本)

TEL:0854-85-7011 FAX:0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します。



○鳥根県立農業大学校との交流会(花き専攻)開催(10/4)

両校学生・職員の連携と一層の資質向上を図るため毎年持ち回りで開催しており、今年度は鳥根県立農業大学校で開催。「私の考える花き専攻の魅力化」をテーマに情報交換を行い、施設の充実や学生の増加、授業の充実、学生生活の改善等について意見があった。6次産業化の一環で創作された「八重桜のシフォンケーキ」の披露もあった。



○林業エンジニア研修を開催(10/4~5)

県内事業体における林業架線技術の向上を目的に、益田市において「林業架線作業技術者研修(応用コース)」を開催した。県内の4事業体から7名が参加し、現場での創意工夫の状況について現場視察を行うとともに、意見交換を行い、技術の習得を図った。



○農業科1年生が浜田市の(株)扇原茶園、中下農園を訪問(10/5)

(株)扇原茶園では、法人設立の経過や農業経営の厳しさ、交流・体験などの取り組みについて学び、中下農園では、果樹専攻の卒業生として、学生時代から心がけていた「日々観察」の大切さなどを聞くことができ、貴重な学習機会になった。

○県内高校生の体験学習を受入

松江農林高校生物生産科1年生40名(10/9~10)、出雲西高校普通科環境福祉コースの2年生62名(10/16・25)が、各専攻で作業体験を行った。



○農業科2年生(32名)が大坂市場等でマーケティング研修を実施(10/11~12)

農業の生産だけでなく流通・販売の知識を得ることにより、優れた担い手を育てることを目的として、大坂市や兵庫県内の量販店(阪急オアシス尼崎潮江店)で農林大産品を販売する体験や青果、食肉の各市場見学などを行った。

○平成30年度有機農業実践研修が終了(10/16)

平成30年度の有機農業実践研修は、5月15日~10月16日の全21回を終了し、閉校式を行った。

研修生6名からは、バラエティに富んだカリキュラムで良かった、今後に活かしたい等の感想が聞かれ、好評であった。



○「第36回中国ブロック農大生のつどい」に参加(10/18~19)

輪番制の大会である本つどいは、本年は広島農大主催で、広島県立福山少年自然の家と御調ソフトボール球場・体育センターを会場として開催された。世羅高原農場を視察したのち、スポーツ大会で交流を図った。ソフトボールは優勝(4連覇)し、卓球は惜しくも準優勝となった。

10月号(その2)



○益田翔陽高校の2年生を対象とした「出前講座」を開催(10/22)

高津川流域では、活性化センター・益田事務所・農林大学校林業科が連携し、「地域の森林・林業を理解するとともに、地域の学生を農林大学校に送り、卒業後は地域として学生を受け入れる」取り組みを平成27年度から実施。今回は益田翔陽高校生物環境工学科2年生9名・3年生1名(学校長推薦試験申込者)が参加し、流域内の3事業体を訪問し、理解を深めた。



○平成31年度学校長推薦入学試験の実施(10/24)

県内外合わせて34人(農業科26人、林業科8人)に対して筆記(数学、小論文)と面接試験を行った。合格者を11月14日に発表し、今後、一般入学試験(前期:平成30年12月5日、後期:平成31年2月13日)を経て平成31年度の入学生を決定する。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。